

## 正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申し上げます（2017年11月29日）

### ■第1版 第1刷（2017年9月1日発行）の修正・更新箇所

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
第1章-4. 六君子湯					
48	処方例	六君子湯(43) <b>1回2.5g</b> 、何回かに分けて <b>1日1～2回</b> 、7～14日分	六君子湯(43) <b>1日2.5～5g</b> (何回かに分けてよい、 <b>1包は2.5g</b> )、7～14日分		17/09/15
51	下から13行目	六君子湯を香蘇散を併用すると	六君子湯と香蘇散を併用すると		17/09/08
51	処方例	六君子湯(43)1回 <b>5g</b> +香蘇散(70)1回 <b>5g</b>	六君子湯(43)1回 <b>2.5g</b> +香蘇散(70)1回 <b>2.5g</b>		17/09/08
51	処方例	甘草を含むため、併用する場合には、 <b>5gずつ計10g</b> まで	甘草を含むため、併用する場合には、 <b>1回5g(2.5g各1包)ずつ計1日10g</b> まで		17/09/08
第1章-4. 六君子湯					
53	稿末の文献一覧	4) <b>飯塚病院漢方診療科:日常診療に役立つ漢方講座 入門講座『はじめての漢方診療』(6)診察の実際:四診</b> <a href="https://aih-net.com/medical/depart/kanpo/iryuu/kanpokouza/012.pdf">https://aih-net.com/medical/depart/kanpo/iryuu/kanpokouza/012.pdf</a>	4)「 <b>舌診アトラス手帳</b> 」(松本克彦, 寇華勝/著), p42, <b>メディカルユーコン</b> , 1994		17/11/29
序・章番号・章タイトルなど					
65	図1のキャプション	(A, B は文献2より転載, C は文献3を改変して転載)	(Aは文献2より転載, Bは文献3より転載, Cは文献4を改変して転載)	以降、本文中の引用文献の番号が1つずつ後ろにずれます	17/11/29

74.75	稿末の文献一覧	<p>2) 飯塚病院漢方診療科: 日常診療に役立つ漢方講座 入門講座『はじめての漢方診療』(6) 診察の実際: 四診 <a href="https://aih-net.com/medical/depart/kanpo/iryoku/kanpokouza/012.pdf">https://aih-net.com/medical/depart/kanpo/iryoku/kanpokouza/012.pdf</a></p> <p>3) 「はじめての漢方診療 十五話 [DVD 付]」(三瀧忠道/著), 医学書院, p218, 2005</p> <p>4) 「これだけは知っておきたい実践診療のコツ 呼吸器症状漢方治療マニュアル」(伊藤 隆/著), 現代出版プランニング, 2006</p> <p>5) 「現代 和漢診療学」(嶋田 豊/著), プイツーソリューション, 2014</p> <p>6) 宮本昭正, 他: TJ-19ツムラ小青竜湯の気管支炎に対するPlacebo対照二重盲検群間比較試験. 臨床医薬, 17: 1189-1214, 2001</p> <p>7) 本間行彦, 他: かぜ症候群に対する麻黄附子細辛湯の有効性—封筒法による比較試験. 日本東洋医学雑誌, 47: 245-252, 1996</p> <p>8) 前田ひろみ, 他: 飯塚病院職員の発熱・風邪症状における漢方医学的症候について. 日本東洋医学雑誌, 64 suppl: 282, 2013</p> <p>9) 馬場駿吉, 他: 小青竜湯の通年性鼻アレルギーに対する効果—二重盲検比較試験. 耳鼻咽喉科臨床, 88: 389-405, 1995</p> <p>10) 吉本達雄, 他: 春季花粉症に対する小青竜湯と麻黄附子細辛湯の効果—両方剤効果の検討. Therapeut ic reseach, 23: 2253-2259, 2002</p> <p>11) 新川光俊, 他: アレルギー性鼻炎に対する小青竜湯とベシル酸ペボタステンの併用効果および眠気について. 漢方と免疫・アレルギー, 18: 70-76, 2005</p> <p>12) 「症例による漢方治療の実際」(松田邦夫/著), p402, 創元社, 1992</p>	<p>2) 「舌診アトラス手帳」(松本克彦, 寇華 勝/著), p42. <a href="#">メディカルユーコン, 1994</a></p> <p>3) 飯塚病院漢方診療科: 日常診療に役立つ漢方講座 入門講座『はじめての漢方診療』(6) 診察の実際: 四診 <a href="https://aih-net.com/medical/depart/kanpo/iryoku/kanpokouza/012.pdf">https://aih-net.com/medical/depart/kanpo/iryoku/kanpokouza/012.pdf</a></p> <p>4) 「はじめての漢方診療 十五話 [DVD 付]」(三瀧忠道/著), 医学書院, p218, 2005</p> <p>5) 「これだけは知っておきたい実践診療のコツ 呼吸器症状漢方治療マニュアル」(伊藤 隆/著), 現代出版プランニング, 2006</p> <p>6) 「現代 和漢診療学」(嶋田 豊/著), プイツーソリューション, 2014</p> <p>7) 宮本昭正, 他: TJ-19ツムラ小青竜湯の気管支炎に対するPlacebo対照二重盲検群間比較試験. 臨床医薬, 17: 1189-1214, 2001</p> <p>8) 本間行彦, 他: かぜ症候群に対する麻黄附子細辛湯の有効性—封筒法による比較試験. 日本東洋医学雑誌, 47: 245-252, 1996</p> <p>9) 前田ひろみ, 他: 飯塚病院職員の発熱・風邪症状における漢方医学的症候について. 日本東洋医学雑誌, 64 suppl: 282, 2013</p> <p>10) 馬場駿吉, 他: 小青竜湯の通年性鼻アレルギーに対する効果—二重盲検比較試験. 耳鼻咽喉科臨床, 88: 389-405, 1995</p> <p>11) 吉本達雄, 他: 春季花粉症に対する小青竜湯と麻黄附子細辛湯の効果—両方剤効果の検討. Therapeut ic reseach, 23: 2253-2259, 2002</p> <p>12) 新川光俊, 他: アレルギー性鼻炎に対する小青竜湯とベシル酸ペボタステンの併用効果および眠気について. 漢方と免疫・アレルギー, 18: 70-76, 2005</p> <p>13) 「症例による漢方治療の実際」(松田邦夫/著), p402, 創元社, 1992</p>	文献2以降、文献一覧のすべての文献番号が1つずつ後ろにずれます	17/11/29
第2章-3. 半夏厚朴湯					
98	稿末の文献一覧	<p>9) Iwasaki K, et al: A pilot study of banxia houpu tang, a traditional Chinese medicine, for reducing pneumonia risk in <a href="#">brain-damaged elderly</a>. <a href="#">International Journal of Stroke, 5 (suppl 2): 38-39, 2010</a></p>	<p>9) Iwasaki K, Kato S, Monma Y, et al.: A pilot study of banxia houpu tang, a traditional Chinese medicine, for reducing pneumonia risk in <a href="#">older adults with dementia</a>. <a href="#">J Am Geriatr Soc, 55 (12): 2035-2040, 2007, Dec; Epub 2007 Oct 18</a></p>		17/11/29